

DPC 及び DWH データを用いた循環器疾患の診療と予後に関する研究 (循環器 DPC データベース研究)

2018 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院循環器内科で治療を受けられた患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院循環器内科では「DPC 及び DWH データを用いた循環器疾患の診療と予後に関する研究 (循環器 DPC データベース研究)」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関 (日本医科大学多摩永山病院) の長 (院長: 牧野浩司) の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施します。皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名: DPC 及び DWH データを用いた循環器疾患の診療と予後に関する研究 (循環器 DPC データベース研究)

研究予定期間: 実施許可日から 2029 年 3 月 31 日

調査対象期間: 2018 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

当院における研究責任者: 日本医科大学多摩永山病院 循環器内科 小谷 英太郎

(2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、循環器疾患の診療実態と予後を評価することにより、循環器医療の質を向上させることです。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について)

2018 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで日本医科大学多摩永山病院循環器内科で治療を受けられた患者さんを対象に、入院及び外来診療時の診療報酬の包括評価 (DPC) に用いられる診療データと電子カルテ (DWH) データを用いた診療実態の調査を行い、予後に関連する因子についての検討を行います。また、機械学習を用いた患者さん一人一人の予後を予測する手法の開発のため、これらのデータは外部企業へ提供されます。

(4) 共同研究機関 (試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者)

研究代表機関: 日本医科大学付属病院

研究全体の責任者: 日本医科大学付属病院循環器内科 浅井邦也

その他の共同研究機関: 日本医科大学武蔵小杉病院 (研究責任者: 丸山光紀)、日本医科大学千葉北総病院 (研究責任者: 小林宣明)、および日本医科大学 (研究責任者: 加藤活人)

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

担当者: 循環器内科 小谷英太郎

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目 7-1

電話番号: 042-371-2111 (代表) 内線: 2302

メールアドレス: nagayama-chiken_center@nms.ac.jp